

平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	大人の女性のゼミ ～ママが学んでおきたいこと～		
団体名	f-SHIP		
事業費	322,970 円	補助金額	161,000 円

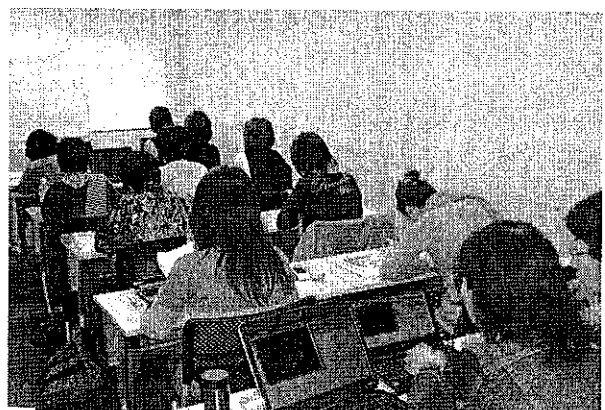
事業の目的・内容	目的
	八王子の女性のための生涯学習による、自己研鑽の機会の提供。家庭や地域、社会生活で活かせる学びの機会を提供することは、それぞれの持ち場で女性が生き生きと活動することにつながり、ひいては地道な地域活性化となると考えた。
事業の目的・内容	内容
	主に 20 歳後半～40 歳代の女性向け生涯学習・自己研鑽プログラム企画。

事業の活動実績	<p>総応募者数約 40 名 参加者 21 名 9/8 (水) 第 1 回目講座 参加者 14 名 9/15 (水) 第 2 回目講座 参加者 15 名 9/28 (火) 第 3 回目講座 参加者 15 名 10/6 (水) 第 4 回目 参加者 18 名 10/20 (水) 第 5 回目 参加者 15 名 11/2 (火) 第 6 回目 参加者 9 名 11/10 (水) 第 7 回目 参加者 12 名 第 8 回目 参加者 18 名 第 9 回目 参加者 9 名 第 10 回目 参加者 12 名。M 字型ボトムの底上げを、生涯学習のアプローチから働きかけるプログラム。1 回目はアイスブレイキング、2 回目は女性を取り巻く社会状況、3～5 回目は自己の内面を掘り下げる内容、6 回目以降は「外」へと向かう内容 (家族関係、インターネット) と、コーチングで今後に向けての「コミットメント」と、「壁」にあたった際に対処できるようセルフコーチングスキルを学び、最後は受講者 1 人 1 人がプレゼンする流れになっている。家庭、地域、社会で主体的に取り組む女性育成に寄与する事業となるよう努めた。</p>
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>■7回目インターネット講座にてアメプロを作成。掲示板を擁するアメプロの機能「ぐるっぼ」を「大人の女性のゼミ」のMLとして活用。参加者個人のブログも更新されており、ゼミ後の様子を互いに励まし合うかたちとなっている。</p> <p>■講座期間中に立ち上がった自主活動グループがある。</p> <p>■7ヶ月7として、2011.2/3に多摩市公民館共済事業の講座、2/17、18に自主事業にて連続講座を実施。大人の女性のゼミの発展版、受講生の同窓会、交流の機会となった。</p> <p>■ゼミ後のOJT(職業訓練)として、2011.3/20イトーヨーカドー八王子店とチェロ・コンサートコミュニティとのコラボレーションイベント「ママと乳幼児のためのスペシャルコンサート～音と癒して地域をサポート～」を企画した。ゼミ講師、受講生、f-SHIPが一丸となって企画をおこない、準備はすべて終了していたが、3/11の震災発生、その後の計画転電の状況を鑑み、来場者等の安全を考え、中止となった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 内容を精査したため。
	その他、評価すべき点等	団体のミッションである「M字型ボトムの底上げ」に役立つ内容であったと自負している。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>女性向け生涯学習・自己研鑽プログラムとして行政との協働の企画としておこなうなど。</p>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	HACHIOUJIKKO元気プロジェクト		
団体名	八王子・子どもの居場所づくりプロジェクト		
事業費	591,174円	補助金額	295,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>田んぼや里山を活用しながら通年的な活動を展開し、継続的な子どもの居場所を形成することを目標とした。地域の団体や、大学生の協力ネットワークを形成することを通じて、私たちの子どもの居場所づくりプロジェクト活動基盤を固め、世代を超えて、地域の子を地域ではぐくむという市民ネットワークの創造と定着を目指す。</p>
	<p>内容</p> <p>田んぼ・里山を中心にした活動を通年を通して行った。代掻きとしての「どろん子運動会」(6月)、「収穫祭」(11月)、「竹たまま祭り」(3月)と行うことが出来た。その中間として隔月ごとに「サマースクール」(7月・9月)や「演劇ワークショップ」(10月)や「ウインターフェスタ」(12月)を実施した。</p>

事業の活動実績	<p>6月13日(日)「どろん子大運動会」どろんこになる体験を通じて田んぼの土の感触、自然を体感する。田んぼの田おこし、代かきを兼ねる。②友達、親子など世代を超えたつながりをもつ。③田んぼで遊び、豚汁を食べながら農業や里山の自然を知る。(参加人数78名)</p> <p>7月10日, 9月11日「サマースクール」子ども達を対象にしたデジタルカメラ教室(13名), ペットボトルロケット教室(18名)を開催, バルーンアート(24名)</p> <p>9月23日(祝)「演劇ワークショップ」子どもたちのコミュニケーション能力を延ばすための言語表現能力、身体表現能力の養成をはかるために演劇ワークショップを実施(23名)</p> <p>11月3日「収穫祭」田んぼでとれたモチ米を餅について参加者に提供した, 風船や工作をして楽しんだ。(68名)</p> <p>12月4日, 25日「ウインターフェスタ」地域の子どものための演劇(60名), シャボン(80名), バルーンアート(60名)のイベントを行った。</p> <p>3月26日「竹たまま祭り」竹は日本人の生活の側にあったが。現在では竹と人との距離は遠くなり、竹林は利用されずに放置されているところが多い。そこで、竹を実際に活用し、竹を使った遊びやアート、かかしづくり等を体験できるイベントを通じ、親子のふれあいや地域とのつながりを深める。(一般公開されたイベントだったので人数把握をしていないが約300名)</p>
---------	--

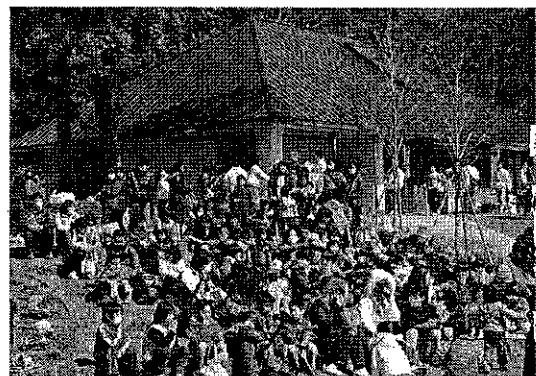
事業の様子または成果がわかる写真①

「どろん子大運動会」(6月13日)



事業の様子または成果がわかる写真②

「竹たまま祭り」(3月26日)



事業の成果・効果	<p>地域で、子ども達を育てていくという地域のネットワークを構築することをめざして活動を続けている。子どもを核として、若者からお年寄りまでの多世代の人たちが手をつないだネットワークを地域でつくるのが何よりも必要と考える。そのためには幼稚園、保育園及び学校という公的機関や児童館との連携をこれまで指向してきた。しかし、近年、大学の児童文化研究会のサークル活動が縮小し、大学間の連携があまりとれていないという情報を得た。そこで、私たちの活動は、私たちが触媒となって大学生のサークルの活動を支援しながら、大学の連携を図った活動を学生達のオリジナリティを尊重しつつ実施することをめざし実施することが出来た。</p> <p>活動場所として、私たちは地域の公園や里山を舞台にした活動をも重要であると考えた。地域で、子ども達を育てていくためには、地域の自治会町内との連携を図ることも必要であり、地域の公園や里山を舞台にして地域の高齢者の方々と連携することも可能になった。</p> <p>また地域で子ども達を育てていくためには、保育園や小学校との連携が必要である。そこでサマースクールやウインターフェスタを通じて地域の保育園、小学校と連携することが出来た。</p> <p>このように今年度の活動として、①大学サークルの支援と連携。②居場所としての地域や里山の活用。③保育園・幼稚園・小学校はじめとする公的機関との連携。以上三点の成果を上げることが可能となった。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> <p>毎月のように活動が出来なかったがほぼ2月ごとに通年の活動を実施した。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>音楽を中心とするイベントが実施できなかった。また、農作業に関わるイベントで実施できなかったものがある。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>プロの演劇団体の指導で子ども達や大学生に演劇的な表現を学ぶことが出来たし、大学の児童文化研究会のスキルアップにも貢献できた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>子どもを核として、若者からお年寄りまでの多世代の人たちが手をつないだネットワークを地域でつくるためにも、大学のサークルとの連携は今後も目指していきたいと考える。次の段階にステップアップするために、事業を絞り込んで、しばらく活動の基礎固めに努める。また、活動の経済的基盤を強化する必要があることを痛感している。</p>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	はじめてみよう「身近な科学体験」		
団体名	八王子青年団体連絡協議会		
事業費	866,631 <del>860,000</del> 円	補助金額	429,000円

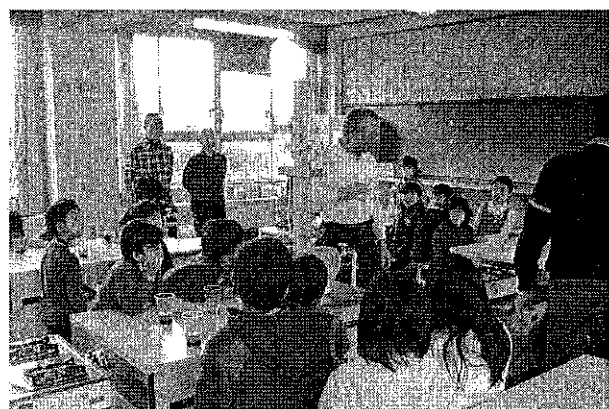
事業の目的・内容	目的 昨今、青少年の「科学技術離れ」「理科離れ」が指摘されている。このような状況に置かれている多くの青少年に科学技術・理科実験等の体験の場を提供し、科学技術に対する関心や理解を深め、地域で科学技術理解増進活動に携わっているボランティアの養成にも寄与していく事業として展開した。
	内容 指導者から実験内容等の「科学知識・技術・方法・楽しさ」などについて学んだ。①実際に「いろいろな材料を使った実験内容を体験した。」②指導者に見守ってもらいながら、子どもたちだけで自主的に「理科実験等」を行った。

事業の活動実績	① 5/8「スライムづくり」〔子ども70名、大人19名〕 材料を提供し、自分たちだけで「スライムづくり」を体験した。なぜ、うまくいかないのか、指導者に教わりながら実際に「スライムづくり」を体験した。材料の量や混ぜるものの違いなどいくつかの例を試した。
	② 7/17「浅川の自然観察と川の水質検査」〔子ども26名、大人10名〕 指導者から川に入る前に危険なことや注意しなくてはいけないところをしっかりと確認した後、実際に川に入り「自然観察」を体験した。川の中にある石を裏返してそこについている虫たちを観察したり、網で土手周辺部分をすくったりして魚に虫たちの観察を行った。また、川の流れの速さや透明度、試薬を使った水の汚れの判定なども観察した。
	③ 9/4「巨大シャボン玉づくり」〔子ども51名、大人12名〕 材料の量や混ぜるものの違いなどいくつかの例を試したり、ストローの太さや切れ目の入れ方を変えたりして、出来るシャボン玉の大きさなどを学んだ。
	③ 11/13「熱気球づくり」〔子ども55名、大人22名〕 ごみ袋を活用し、気球分に各自が絵を描くなど「気球づくり」を体験した。気球を支える材料の重さなどの違いによりあがり具合の違いなどを学んだ。
	④ 1/15「海底火山ドレッシングづくり」〔子ども45名、大人14名〕 「海底火山ドレッシングづくり」をサラダ油と酢を使って体験した。材料の量や混ぜるものの違いなどいくつかの例を試した。
	⑥ 3/5「空気砲づくり」〔子ども24名、大人12名〕 煙の量や煙の代わりにのものを探するなどいくつかの例を試すとともに、空気砲の威力を試す遊びを行った。

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>継続的に事業を実施したことにより、理科実験等を身近なものと感じられるものとなり、「科学離れ」「理科離れ解消の一助となった。</p> <p>指導者から「科学知識・技術・方法・楽しさ」などについて学び、子どもたちが自主的に「理科教室」を行えるように「企画・広報・運営・実施」などの方法も学ぶことができた。</p> <p>この体験を通して感じたことや反省点などを話し合い、その後それぞれの意見を発表し、子どもたちだけで自主的に実験等を通し、より一層の達成感を感じるにより科学や理科に対する興味を持たせることができた。</p> <p>た。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	○1. できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    ○2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    ○2 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 材料費が事業によって異なるため。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>科学体験等を支える講師やサポーターの協力を得て、小学校のサタデースクール等で本事業を継続的に実施していく。</p>
---------	--

## 平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	里親制度を正しく知ってもらうための活動		
団体名	里親ひろば ほいっぷ八王子		
事業費	493,949円	補助金額	246,000円

事業の目的・内容	目的 里親と言えば犬猫メダカの里親の方が広く知られていて、児童福祉法に定められ人間の里親制度がまだ知られていないのが現状です。社会的養護の必要な子どもを地域で育てる里親制度を正しく知っていただくために里親自身が企画します。
	内容 八王子の里親が子どもの通う学校 地域社会に対して情報発信し子どもが育ちやすい環境づくりを目指して講演会を行います。平成20年11月に児童福祉法が一部改正され、里親が条文化されました。社会的養護の担い手として位置付けられたことを自覚し子育ての環境改善に努める活動をします。

事業の活動実績	<p>地域の子どもは地域で育てたい！ ～ご存知ですか？養育家庭制度・里親制度～ 日時：平成22年11月15日午前10時から 会場クリエイトホール 5階 資料代：1,000円 主催：里親ひろば ほいっぷ八王子（地域で子どもとともに育つ大人のためのひろば） 後援：NPO法人八王子市民活動協議会 NPO法人東京養育家庭の会 みどり支部 協力東京都八王子児童相談所 ＜基調講演＞テーマ：「今なぜ子どもを愛せないのか」 講師：（子ども教育宝仙大学講師）</p> <p>＜パネルディスカッション＞ テーマ：「家族になる」 コーディネーター：前田信一 パネラー：養子縁組里親・養育家庭・ファミリーホームから 昼食をはさんで 意見交換会参加者全員 参加者 44名</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>今回の事業でのテーマがそのまま、地域での子育ての問題解決になるようなモデル事業の展開でした。東京都、八王子市、の行政関係者も出席していただき その後企業や八王子北ロータリークラブ様からも継続的な支援の申し出をいただくことができました。</p> <p>読売新聞多摩版に、里親に関する記事が掲載され、その中で当会の活動についても触れていただきました。</p> <p>ブログを見た チラシを見た と当日初めて参加する方もいました。</p> <p>短期間でポスター制作の実現のため市内の市民活動団体様や個人様からご協力がいただけました。</p> <p>里親も主体となり 地域で子育てする情報発信者になれるということが実感できました。</p> <p>里親 特別養子縁組里親とが初めて協働して講演会を開催できたという画期的な講演会でした</p> <p>横川1丁目にある弁天池公園掲示板にこの企画事業で作成したポスターを通年で貼らせていただいています。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と報告書の活動費の内訳について	1. ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)  当初支出項目を交通費と通信費に分けていたが、市の交換便を使い郵送料がかからなかったため、そのために動いた費用を交通費としてまとめた。
	その他、評価すべき点等	新しい団体との協働ができたことで地域での子育てに希望が持てました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>市内の幼 保・小・中・そのたの場所に 今回作成しましたポスターを掲示していただき、子どもにも理解してもらえるように活用したい。</p> <p>地域での子育てがより安心安全になるような仕組みづくりを実践していきたい。</p> <p>里親会のパンフレットを作成しより広く伝えていきたい。</p>
---------	--



平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	デージー図書の作製		
団体名	南大沢音訳の会「こだま」		
事業費	182,900円	補助金額	59,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>視覚に障害のある方々への声のボランティアである「こだま」は、テープからデージー（CD）へと音訳図書が確実に変わっている現在、デージー図書作りが急務となっている。そして編集はパソコン抜きでは成り立たない。又、市からの情報は市民の手で伝えたいという希望も持っている。市広報もデージー配布がふえてきているので、デージー図書作製を目的として助成金を申請した。</p>
	<p>内容</p> <p>テープデッキにかわる録音機材はさまざまあるが、編集してデージー図書を作製するのはパソコン。パソコン編集技術を確実なものにしていかなければならない状況にある。助成金と自己資金を合わせてパソコン・編集のための周辺機器を購入し、パソコンでのデージー編集に力を注いだ。「こだま」用は今回の一台しかないの、他は個人のパソコンで作製した。</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年からのデージー図書作製のための有志からなるデージー班が、引き続き2年目としてデージー図書作製に着手。パソコン購入は5月。21年度助成金で購入したDR-1等で録音したものを編集していった。</li> <li>・ 新しくデージー班に参加した会員も含め、10名程で活動。月2回は研修日を設け、各自自宅での作業等を含めると、1ヶ月、7～10日位は各自研修。これが1年間続いた。</li> <li>・ 市広報の参入を視野に8月までは読みのマニュアル作りをし、9月から市広報のデージー編集の試作を始めた。月2回の市広報を一定の期間でデージー図書に仕上げるようになるようになった。</li> </ul>
---------	---



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デイジー図書の作製の手順も理解でき、手早く作製できるようになった。</li> <li>・ 市図書館から蔵書を依頼されることになった。                  デイジー編集した音訳図書を市図書館に納められる。待ちに待ったことで、やっと音訳ボランティアとして市に認めてもらえると身が引き締まる思いがする。                  安定した供給を目指し、努力していきたい。</li> <li>・ 市広報への入札に参入できた。                  自立のための一歩。日々の努力と協力が入札に参加という状況を作ることができた。                  「こだま」会員のチャレンジ精神、チームワークが実ったと思う。</li> <li>・ 平成22年度八王子市教育委員会表彰を受けた。                  ボランティア活動、継続的な活動に尽力し、多大な貢献をしていると言うことでの表彰。                  普段の活動も評価されたことに対して嬉しく思っている。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた    ② 概ねできた    ③ あまりできなかった    ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた    ② 概ねできた    ③ あまりできなかった    ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ① ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    ③ 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	デイジー編集という目的に向かい、デイジー班の一人一人が努力したこと。チームワークが素晴らしい。また、自立を常に念頭において行動する会員であることを認識させられた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デイジー化に向けて、会員全員がデジタル録音をできるようにすること。</li> <li>・ デイジー図書完全移行に向けてのデイジー班以外の会員にデイジー編集を覚えてもらうこと。</li> <li>・ 市広報など、自立にむけての事業に目を向けていくこと。</li> </ul>
---------	---

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	認知症：集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる		
団体名	特定非営利活動法人 らいふねっとMOE		
事業費	891,100円	補助金額	297,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>増大する高齢者、特に認知高齢者の激増は、予想を超えるものであり行政、公的サービス、民間事業者、家族のみでは対応しきれない状況となっている。 身近に学び、集い、支え合いを実践できる拠点づくりの重要性を痛感している。 インフォーマルサービスとしての、地域住民による相互支え合いのシステムの拠点をつくり、ご本人、家族、介護者の支援をめざす。</p>
	<p>内容</p> <p>1) 認知症関連セミナーの開催 (年10回程度) 2) 集いの場の開催、(年11回程度) たまり場としての拠点づくり 3) 家族会の起ち上げ 4) moe通信の発行 (年6回程度)</p>

事業の活動実績	<p>1) 今年度認知症関連セミナーは8回の開催となった。(参加者196名)</p> <p>2) 集いの場も高齢者でもあり体調不良などで参加できなくなったりして、予想したより発展しない残念な結果となった。(21回開催参加者83名)</p> <p>たまり場としてのコミュニティサロン「とちの木」を12月より開設。 今後の活動の足がかりとなると考えている。(来所116名)</p> <p>3) 当初念願した家族会の結成には至らなかった。ただサロン開設で相談しやすい場所の提供となり数名の相談者が来所、地域包括の紹介や傾聴にするなど実りもあった。 (来所：4名)</p> <p>4) 支え合いの輪を広げたいとMOE通信の発行5回(3号～7号)</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>認知症関連セミナーの開催、コミュニティサロンの開設等で、少しずつ、支え合いの必要性、病気や、制度への正しい知識と理解の必要性を感じて下さり、自分に出来ることで役立ちたいと声をかけてくれる方や、内容のあるセミナーに参加できてうれしい、これからもこのような機会をつくって欲しい等感謝の言葉を頂いたり、新しい方の参加、カンパや寄付をして下さる方も増え、これまでにない手応えを感じ、心強く勇気を与えられた事である。</p> <p>このようにまだまだ小さな芽、ささやかな一歩ではあるが、私どもが願い目指すものに共感し、機会があれば関わりを持とうと考えてくれる方が確実に増えている現状は大きな成果と考えている。 (セミナー・集いの場・コミュニティーサロンで延べ395名の参加者)</p> <p>半年前倒して開設のコミュニティーサロン「とちの木」は、年末年始、寒い時期となり準備に忙殺され慣れないこともあり、いささか拙速で地域の皆さんへの広報不足、認知不足もあり予想はしていたがかなり厳しい状況となった。日曜以外の月～土11:00～16:00としたが来所者は少なく当番の皆さんも期待はずれを感じるが多かった。しかし当番として新しい方の参加が増えた事はうれしいことであった。</p> <p>焦らずにじっくりと継続していくこととして、暖かい季節を迎え心新たに頑張りたい。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた    ①概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    ②概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    ③多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ・ 次年度予定の支援ネットワーク拠点としてのコミュニティーサロン「とちの木」を開設した為、関連備品を計上した。 ・ セミナー2回。通信1回を実施しなかった、又新聞折り込みもポスティングでやる等、講師料が減額となった。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>2年間補助金交付を受け、かなり難しい課題に取り組むことが出来たことに感謝すると共に次年度からは補助金を受けず自立した活動の基盤をつくっていただいたと考えています。これからもセミナー・コミュニティーサロンの充実、見守りシステムの構築など支え合いの輪を広げるために、地道に活動を継続し、試行錯誤を重ねながら地域の皆さん、仲間の皆さんと共に心温かく、安心して暮らし続けられる地域づくりに邁進したいと決意を新たにしている。</p>
---------	--

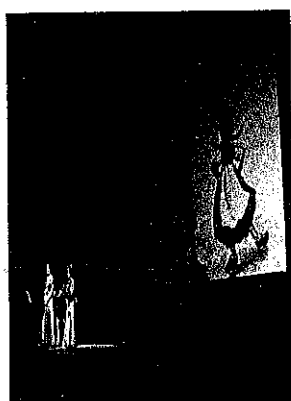
## 平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	絵と語り付きクラシックコンサート		
団体名	絵と語り付きクラシックコンサート実行委員会		
事業費	454,370円	補助金額	147,000円

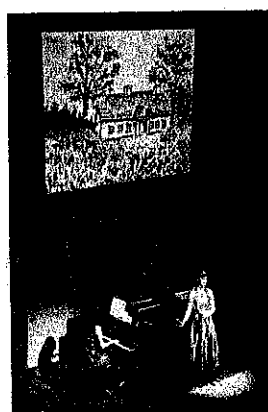
事業の目的・内容	<b>目的</b> 八王子市立柏木小学校で図書館ボランティアとして、音楽付き大型絵本の読み聞かせを長年続けているうちに、音楽と絵本のコラボの素晴らしさを実感しました。子育て中のお母さんや小さな子供達から年配の方々にもホールでの本格的なクラシックコンサートに来て頂き、その良さやクラシック音楽の素晴らしさを実感して欲しい。
	<b>内容</b> オリジナルの絵を大きく映し出し、お話を語りながらクラシック音楽を聴くコンサートです。南大沢文化会館主ホールで子供向けコンサートを、南大沢文化会館交流ホールで大人向けコンサートを開催しました。大人向けコンサートでは、休憩時間に珈琲や紅茶の飲み物と美味しいチョコレートとクッキーで優雅な気分を味わって頂きました。

事業の活動実績	<b>公演場所</b> ：①南大沢文化会館 主ホール                      ②南大沢会館 交流ホール <b>公演日時</b> ：平成 22 年 12 月 4 日 (土) 開演 15:00    平成 22 年 12 月 12 日 (日) 開演：15:00 <b>演目</b> ：絵と語り付きクラシックコンサート-ヘンゼルとグレーテル- ①前半・・・ヘンゼルとグレーテル                      ②前半・・・ヘンゼルとグレーテル 後半・・・そりすべり他冬にちなんだ楽曲                      後半・・・東欧音楽紀行 <b>料金</b> ：①大人：1,500 円、子ども：1,000 円・・・お菓子のプレゼント付き、2 歳未満は無料 ②大人・子ども共通：2,000 円・・・飲み物付き 2 歳未満は無料 <b>来場者数</b> ①大人：106 人、子ども：70 人、2 歳未満：約 20 人    ②88 人 <b>チケット販売開始</b> ：平成 22 年 10 月 5 日 (火) <b>出演者</b> ：音楽グループ オンディーヌより「ヴァイオリン」小島絵子「ソプラノ」大宮桂子 「ピアノ」我妻篤子・武井美樹・三根あき子・辻信子 「語り・司会」 津波古しおみ <b>オリジナルの絵</b> ：出牛 郁子作 ①・②ともに前半は、オリジナルの絵と語り、ピアノ連弾、ソプラノとヴァイオリンで「ヘンゼルとグレーテル」のお話をお送りしました。休憩後の後半は、①では子ども向けの冬にちなんだ曲を、②では「東欧音楽紀行」と題して東欧 6 カ国の代表的な都市にゆかりある作曲家を紹介し、その方ちなんだ曲ピアノ・ヴァイオリン・ソプラノでお送りしました。
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>当初予定していた1日2回公演を2日間の2回公演にし、さらに公演場所も変更した。</p> <p>① 子供向けコンサートでは、今回初めて500人を収容できる主ホールに挑戦してみたが、やはりチケットの売れ行きがが思うようには行かなかった。公演日が土曜日で、子どもの習い事や親も仕事という方が多かったのも原因の1つであるように思います。ネットや地域のミニコミ紙等にチケットプレゼントでコンサートをPRしたり、当日券を設けたが目標の200名には届かなく残念だった。しかし、内容は例年通りに評判は良く、多数のアンケートには「今年も来て良かった、絵が綺麗、赤ちゃんとコンサートに来られて嬉しかった、来年も来たい・・・」と嬉しい感想をたくさん頂きました。今回は、3年目でもあり、初めての時にはお母さんと来てくれた小学校低学年の子供達が、今年の中、高学年になったのでお友達同士で来てくれました。この活動は、その成長に必ず役立っているのではないかと強く思っています。</p> <p>② 大人向けコンサートは、リピーターの方が8割を占めていました。昨年同様に後半の「音楽紀行」の評判が良く、「その街に行った気分になれた、来年はどこかしら・・・」と毎年楽しみにして下さっている様です。特に今年は、都市の紹介よりも作曲家の紹介、エピソードをクローズアップしたことが、高い評価を頂いたように思いました。「楽曲と作曲家が一致した、その思いがステキな楽曲になったのね・・・」など、クラシック音楽に一步深い興味を持って頂けたと思います。</p> <p>オリジナルの絵も毎年評判が良く、「絵本を出版するべきだ」と熱いご意見を頂いたこともあり、3年分の絵の中から抜粋した6枚(3枚1セット200円)を絵はがきにして販売しました。大人の方が「やさしい絵で大好き、孫に、お友達に・・・」とご購入頂き、自分のおこづかいで買ってくれたお子さんもいて、とても嬉しく感謝しています。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2日間に分けたことで拘束時間が短くなったので、出演料の減額、出演者、スタッフの食事代が不要となった。</li> <li>・ チケット代の変更・・・主ホールに多くの子どもが来て欲しかった軽食を中止した。</li> </ul>
	その他、評価すべき点等 子供から年配の方まで、リピーターの方が多く来場頂けた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはり私たちの力量では、今まで通りの形式で絵と語り付きクラシックコンサートを開催して行くことが相応しいのではないかと思います。</li> <li>・他の楽器を取り入れて、音楽の幅を広げたい</li> <li>・またコンサート内容に変更はないが、軽食やお菓子等の付加部分については検討する。</li> </ul>
---------	---

## 平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地球冒険学校交流セミナー		
団体名	特定非営利活動法人地球冒険学校準備会		
事業費	811,114 円	補助金額	270,000 円

事業の目的・内容	<p>目的 「青少年の健全育成」「障害者の完全参加と平等」を目的とし、様々な交流事業をとおして障害者やその家族、地域の人や青少年が交流できる活動を提供する。</p> <p>1. 障害者が主体的にそれぞれの自立生活を模索できるようにする。</p> <p>2. 障害や世代を超えた人と人との交流をとおして、障害者への理解を促し、ともに協力し支え合うことができる地域生活を促進する。</p> <p>3. 青少年のボランティア意識を高め、市内の青少年のボランティア人口を増やす。</p>
	<p>内容</p> <p>①わくわくお泊りコンサート 高尾の森わくわくビレッジにて実施。手人形ミュージカルとサルサバンドのコンサートの他、ゲームやキャンプファイヤー等の活動を通して交流。食事や入浴を共にし、一泊で参加者同士の交流を図る。また、青少年のボランティア参加者も参加者の身辺面の介助などを行い、ボランティア活動を体験する。</p> <p>②雪遊び in 信州高遠 信州高遠青少年自然の家にて実施。そりや歩くスキーなどの雪遊びやゲーム、キャンドルの集い、餅つき等で交流を行う。雪遊びの機会の少ない障害者にも雪遊びの楽しさを体験してもらい、ボランティア参加者も実際に介助を行ったり、一緒に遊んだりする中で親交を深める。</p>

事業の活動実績	<p>①わくわく交流セミナー；9月18～19日、高尾の森わくわくビレッジにて実施。手人形ミュージカル「またたびアンサンブル」の人形ミュージカルと「キューバの風～セブテート・トラディション」によるラテン音楽のコンサートを行った。ラテンダンスも飛び出し、会場は熱気に包まれた。ゲームやキャンプファイヤー等の活動も行った。キャンプファイヤーは雨のため、市内の学習室で実施したが、参加者の交流はゆったりと図ることができた。参加者86名(宿泊59名、日帰り27名)。内、ボランティア25名。都立高校生もボランティアで参加した。</p> <p>②雪と遊ぼう in 信州高遠；1月8～9日、信州高遠青少年自然の家にて実施。雪がないかと心配していたが、幸い降雪があり、そりや歩くスキー、雪合戦などの雪遊びを体験することができた。キャンドルの集いや餅つき等も行い参加者が交流した。参加者63名。内、ボランティア15名。高校生のボランティア参加あり。また、障害児の兄弟も一緒に参加し、子ども達同士の交流が深まった。この際のボランティアをきっかけに、その後も継続して個人ボランティアを行うケースもあった。また、観光バスをチャーターし、参加者が交流しながら現地への往復ができたのがとても好評だった。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>参加者数は前年と比較して、わくわくお泊りコンサートが約2割減、雪遊び in 高遠は約4割増となった。参加者数の増減にかかわらず、どちらも充実した内容の活動ができ、総じて成功を収めた。本事業の成果として以下の項目が挙げられる。</p> <p>①障害者の余暇等における活動範囲は非常に狭いのが現実である。そのような中、本事業を楽しみにして参加する人も多く、学校や作業所以外での活動や交流の場を得ることができた。また、障害者同士や家族同士、ボランティアとの交流も広がり、本事業以外でも交流するなどの事例が見られるようになった。</p> <p>②高校生のボランティア参加もあった。市内の大学生のボランティア参加も定着し、少しずつではあるが、市内の青少年のボランティア活動への機会や関心を喚起できた。</p> <p>③ボランティアから参加費を徴収することなく事業が実施できたので、ボランティア参加の希望が増えた。今までは、ボランティアからも参加費を徴収し、交通費等も出すことができず、全くの手弁当参加をお願いしていたが、今年度は参加費を徴収しなくても実施することができた。そのため、ボランティア参加の依頼や呼びかけも広く行いやすかった。実際、ボランティアの参加者が増えた。</p> <p>④事業へ参加した結果、会に入会した人もいて会員が増えた。また、継続して事業へのボランティア協力を約束して下さった一般市民の方もおり、会の活動への理解者や協力者を増やすことができた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>経費の見直しを図り、事業費を予定よりも縮小した形で実施出来た。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>本事業を通して、一般参加者が多く入会してもらえたのでよかった。 (新入会 7名)</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>この二つの事業は、障害者が宿泊体験がしやすい事業で、参加者の次回への期待も大きい。また、市内の障害者と一般の地域の人たちが交流しやすく、青少年のボランティア体験としては、非常に充実した内容でもある。今後も同様に継続していく予定である。今後も、賛助会員や賛助団体をさらに増やし、会の経済的自立を図れるように努力したい。23年度についても、宿泊事業の「わくわくお泊りコンサート」と「雪遊び」の補助金を申請して行う予定である。今後も広報活動を積極的に行い、青少年のボランティア参加をさらに広げていきたいと考えている。</p>
---------	--



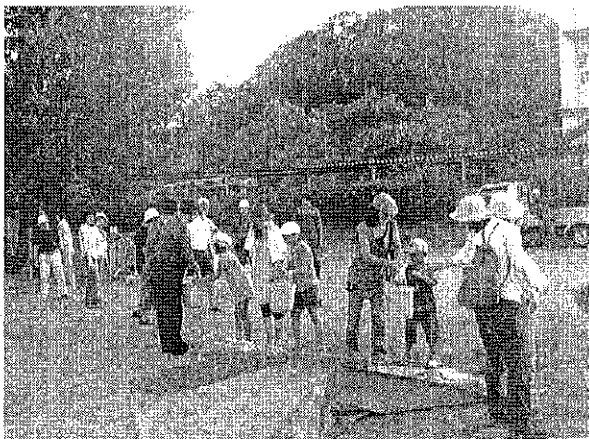
平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	夢あるまちづくり		
団体名	夢あるまちづくり協議会		
事業費	814,024円	補助金額	140,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>住民間の交流機会、交流場所、学習機会、情報利用機会、イベントへの参加機会 等の増加により、連帯意識の醸成、地元帰属意識喚起、地域活性化に資すること。また各種企画を通して、当該地域住民（約3、000世帯）に対し本協議会活動を周知する。</p>
	<p>内容</p> <p>①安全、安心なまちづくり： 防犯マップ作成、防災キャンプ、危険情報交換                  ②生涯学習で生き生きしたまちづくり：サークル活動の開発・支援、サークル交流、学校教育との連携                  ③魅力あるまちづくり：商店街活性化（朝市）、循環型環境作り（学習会）、イベント企画実施・支援                  ④心ふれあうまちづくり：世代間交流の機会と場の提供、高齢者・子育て世代のたまり場・居場所づくり（施設の有効活用）</p>

事業の活動実績	<p>◇具体的な事業実施内容は以下の通り。</p> <p>◆自主開催の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトアップお花見開催（4月100名）</li> <li>・男の料理教室開催（6月13名11月11名、3月12名）</li> <li>・世代間交流ハイキング（5月11名、11月21名）・朝市開催（6月40名、10月50名）</li> <li>・蛍を見る会開催（5月3名、6月20名、10月3名）</li> <li>・みどりの学校開催（4月4名、3月45名）・「鹿島・松が谷35年の変遷」展（6月100名）</li> <li>・防災キャンプ開催（9月96名）</li> <li>・堆肥化学習会（1月10名）</li> <li>・環境学習会開催（2月28名）</li> <li>・カラオケサークル開催（2回/月、12~16名）</li> <li>・広報紙発行（3月）</li> <li>・DH大学三者協議会住民事務局（1回/月）</li> </ul> <p>◆他団体開催事業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島・松が谷両納涼祭参加・運営協力（7月）</li> <li>・鹿島・松が谷こどもまつり参加・運営協力（10月）</li> <li>・鹿島地区連絡協議会防災訓練協力（11月）</li> <li>・由木東市民センター祭り（2月）</li> </ul>
---------	---

写真① 防災キャンプ（バケツリレー）



写真② 男の料理教室



事業の成果・効果	<p>●昨年度以上に参加者が増加し、活動実績を通して地域の皆様から本協議会活動を評価して頂けたと考えており、当初の目的は十分に達成できたと考えている。</p> <p>●防災キャンプは八王子消防署由木分署の全面的な協力により、倒壊家屋からの救助など当該地域では例を見ない大規模な災害訓練を行うことができた。地域の自主防災組織とも協力して実践的な避難訓練が出来たことは有意義だった。その他、定期的で開催しているカラオケの会や男の料理教室などを通じて、新たな参加者も増えてきている。特に今年度初めて企画した「みどりの学校・移動教室」参加者は予定を大幅に上回り、新たな出会いの場を提供することができた。地域ネットワーク作りの端緒として顔見知りになることは重要なファクターであり、大きな効果があったと考えている。</p> <p>●地域組織との連携として、本年度も鹿島地区連絡協議会、松が谷連絡協議会から活動資金援助を得る共に、環境学習会の共催や防災訓練などを通して良好な協力関係を維持できている。</p> <p>●行政との協働という点においては、協働推進課のみならず防災課・公園課・産業政策課・ごみ減量対策課・環境政策課との個別の懇談やアドバイスを受け、良い関係が築けていると考える。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>更なる資材や人財を確保するとともに、より多くの住民間の交流と親睦を促進し、豊かで安全なまちづくりに貢献する活動を行う。</p> <p>今年度で八王子市からの補助金が終了するが、できるだけこれまでと同等な活動が出来るよう、活動方針や体制等について検討する。</p>
---------	--

## 平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	親子ふれあいキャンプ2010		
団体名	はちおうじユースネットサービス		
事業費	1,617,731円	補助金額	368,000円

事業の目的・内容	<p>●目的</p> <p>①親子の絆を確かめ、はぐくむための親子・参加者の共同体験活動の実施</p> <p>②青少年の意欲を高める体験活動の推進</p> <p>社会の高度化・複雑化に伴い、青少年をめぐる問題も多様化・深刻化している。これらによって生じる課題全てに行政が対応することは不可能であり、彼らの意欲を高め、社会的に自立できるように様々な体験活動の場を提供する一助とする。</p> <p>2泊3日同じプログラムを親子別班で行うことにより、日常生活ではなかなか見えない親子のお互いの部分を発見し、より一層親子の絆を深められる場の提供となることも目的とする。</p> <p>また参加している他の子どもたち、保護者に接することにより、わが子や自分自身を見つめ直す機会にもなる。</p>
	<p>●内容</p> <p>事前説明会にて、班作りを始め参加者交流を行う。小学校1年生～6年生までの児童と、その保護者を対象に40組の親子を募集し、長野県にある「八王子市姫木平自然の家」を宿泊場所として2泊3日の親子ふれあいキャンプを実施。</p> <p>主なプログラムとしては、①ローテーションゲーム(野外ゲーム) ②自炊 ③体験プログラム(ロープ遊び、エコクラフト、宝箱づくりより選択) ④キャンドルサービス(雨のためキャンプファイヤーを変更) ⑤ハイキング(八島湿原から車山他) ⑥白樺湖畔での親子ふれあいタイム</p>
事業の活動実績	<p>◆事前説明会…7月25日(日) キャンプ説明・班作り・参加者交流など</p> <p>◆キャンプ…8月7日(土)～9日(月) 2泊3日、姫木平・車山周辺・白樺湖周辺にて実施。参加者20組(43名)。参加者費用は、親子1組25,000円(子ども1人追加9000円)。運営スタッフは11名、講師4名の計15名で運営を行った。(総勢58名) 交通手段は、借り上げバス2台を利用し、集合・解散場所を南大沢駅・八王子駅南口とした。</p> <p>主なプログラムとしては、●1日目(8月7日)…ローテーションゲーム(野外ゲーム)・自炊(石釜ピザなど)・晴天のため星空観測●2日目(8日)…朝の散策・ハイキング(八島湿原から車山2コースより選択)・キャンプファイヤー●3日目(9日)…体験プログラム(ロープ遊び・エコクラフト・プレート作りより選択)・白樺湖畔での親子ふれあいタイムを実施した。</p> <p>◆写真交換会…8月22日(日) キャンプの思い出・写真交換・参加者交流など</p> <p>◆感想文集・写真CD作成および発送。アンケート実施。</p>



事業の成果・効果	<p>親と子を別々の班とし、班での行動を中心に活動を行った。子どもの班は、時間が経つにつれて高学年の子どもたちが低学年の子どもたちの面倒をみるなど、異年齢の仲間意識が芽生えていたように感じられた。親の班は、一步下がった形で子どもたちと関わる中で、わが子を客観的に見直す機会が作れたと感じた。また親子ともに親、子のそれぞれ良い面を発見することが出来た。</p> <p>キャンプファイヤーなどでは、異なった親子の組み合わせで、出し物を考え、練習し、演じる中で、他の参加者の子どもたちもわが子同様に接する機会を体験できたことは、とても有意義だったと考える。</p> <p>広い八王子市の中で、地域・学校を越え、学年を越え、親子で交流できたことは、確実な「市民交流」の実現に寄与しているものと考えている。</p> <p>事前説明会(日程説明・班作り・係決め・交流・その他)はキャンプを有意義に行うために効果的だった。また事後の写真交換会は参加者のつながりをより深めることとなった。</p> <p>キャンプの反省・思い出のために参加者の感想文集・写真CDの作成とアンケートを実施した。</p> <p>●参加者アンケートより</p> <p>▽子どもだけが参加できるキャンプだと、親は子どもの様子を見るが出来ない。一方親子一緒だと、親も子どもも家庭での関係を引き続き演じてしまう…。という訳で親と子は別班、キャンプファイヤーでは「子どもチェンジ」でスタンプを行うというのは、大変意義があり、色々な発見もあり、思い出深いキャンプになった。</p> <p>▽初めて息子との2人旅だった。日常では仕事が忙しく、なかなかじっくり時間が取れなかったり、下の子(3才)に手がかかったり…。兄だけの時間が作れてよかった。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ○2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ○2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	○1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	感想文やアンケートにもあるように、今回も参加者から事業継続の声が多く寄せられた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

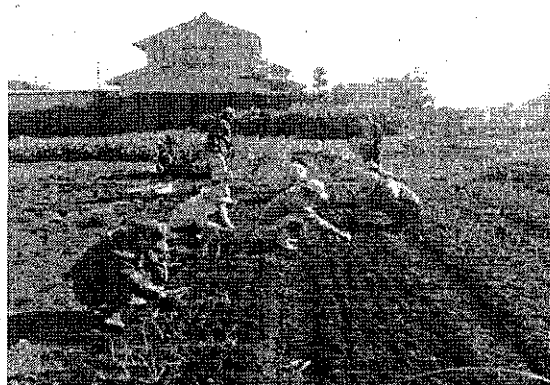
今後の事業展開	<p>市民企画事業補助金交付事業は今回で3回めとなり、最後となる。参加者からの声やアンケートなどから「親子ふれあいキャンプ」の存続を望む意見が多い。継続できる方法を思索する。</p> <p>キャンプ等を支える講師やサポーターのネットワークを構築し、いつでもどこでも実施できる体制作りを考えていきたい。また、八王子市と協働で実施できる道を視野に入れていきたい。</p>
---------	---

平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	市民参加型 援農活動による農業活性化 一Ⅱ		
団体名	特定非営利活動法人 すずしろ 22		
事業費	600,324 円	補助金額	120,000 円

事業の目的・内容	目的	農業活性化に寄与する。 そのために 3つの項目・分野で活動する。 (1) 有償援農ボランティア 「人材 - 農家需要 と 市民意欲のマッチング」 (2) 休耕農地の活用 「農地 - 食と 潤と 未来を 保全」 (3) 地産地消 「食材 - 三里四方 八王子産の旬鮮野菜を食卓へ」
	内容	活性化のため 農業の裾野拡張のための 3項目のアクションアイテム (1) 農家の人材需要に対して 市民会員を紹介 (2) ボランティア先農家の休耕地への耕作応援 (3) ボランティア先農家の野菜を 学校給食・一般市民に販売

事業の活動実績	<p>(1)農耕技術の学習・体得 および 情報交換会・講演会の開催</p> <p>① 遊休農地削減活動 各月実施 年間 82 回開催 2964 時間 / 年</p> <p>② 他県援農活動団体との情報交換会 16 名参加</p> <p>③ 農家との情報交換会(講演会) 2月6日 台町市民センター 42 名参加</p> <p>(2)農家への応援作業 — 有償援農ボランティア活動 —</p> <p>① 対象農家の拡大 19 軒</p> <p>② 応援時間実績 6963 時間/年 昨年比 123%</p> <p>(3)休耕農地の活用 — 無償ボランティア活動 —</p> <p>① 応援農地 計 6 反</p> <p>② 市民農園の開設 加住町の農地 (約 1500 m<sup>2</sup>) を 21 区画で提供</p> <p>(4)野菜販売</p> <p>① 有志会員が設立した 3 団体による直販体制に変更</p> <p>② それぞれの団体は すずしろ 22 の団体会員の位置付け</p> <p>③ そのうち 学校給食担当団体は 28 校と契約</p>	
---------	---	--



事業の成果・効果

おかげ様で 農家の方々をはじめとした関係者のご配慮・ご厚意をいただき 計画値以上の成果にたどりつくことができたものと 自己評価し 感謝している。 活動の三本柱 それぞれの成果は 以下のとおり。

(1) 有償援農ボランティア

19軒の農家に対して 延べ応援時間は 昨年比 23%増の6963時間となった。 作業内容も徐々に高度なものも含まれるようになり 会員の技術力が農家から 評価されつつ あるかと推測している。

前日に依頼の電話があるといったスポット的な作業依頼も あるものの 月間を通じて 固定した人材の指定をいただく事例もふえてきている。 該当農家にとって必要欠くべからざる人材になってきたためとうけとめている。

(2) 休耕農地の活用

人手不足のため 草が繁茂している農地に対して 無償ボランティア活動により 農家を応援させていただいた。「周囲環境・景観対策」という面からも 農家と休耕地の周囲住民から折々に感謝の言をいただけることも大きな活力源になっている。 農林課と 農業委員会からの指導・承認をいただき 加住町に市民農園を開設できたことに 一つの大きな喜び・達成感を おぼえている。

(3) 地産地消

野菜直販を担当する任意団体を有志会員が設立し 新たに すずしろグループを構成した。 生産者の顔が見えかつ 安全新鮮な野菜を消費者におとどけする、そして『食育』に寄与する ー 地産地消 そのシンボリックな活動として学校給食への食材納品ー は 契約校が28校と 計画していた以上の実績を 関連団体に 達成していただくことができた。 もうひとつの大きな達成感である。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 活動の進展に合わせて 経費の配分面で一部変動が必要となった。
	その他、評価すべき点等	活動の3本柱 それぞれの実績数値が増加傾向にあることは 農家と参加市民からの賛同が 確実にいただけつつあることと 解釈し げげみとしている。 三部門とも経費的健全運営が見込める見込みを持てるようになった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開

三本柱について それぞれの 実績数値の増加とその品質の向上に努めていきたい。特に下記2項には より注力していきたい。

(1) 「学校給食」で 農家と 児童のお役に立つこと ー 『食育』への 参画 ー。

(2) 加住町に開設できた 「特定農地貸付法に準拠した『NPO 法人による市民農園』の増設を 関係各位のご指導により実現していきたい。

## 6 成果報告会 アンケート結果

### アンケートの概要

実施日 平成23年6月4日(土) 成果報告会にて  
 対象 成果報告会に来場された方  
 内容 各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想

### (1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	幼少児童との「防火ふれあい会」		
団体名	防火支援ボランティア FOB 八王子	事業成果報告の記載ページ	P 6

- ・ 話も解りやすく良かったが、時間が大分超過したのは、残念でした。(70代女性)

事業名	親子で楽しむ陶芸教室		
団体名	特定非営利活動法人 発達支援の会—未来	事業成果報告の記載ページ	P 8

- ・ 体験することで、集中できる。作品が完成して喜びになる。ハンディがあっても、少人数だから、参加者も気がねなく、安心して楽しめるように感じました。(40代女性)
- ・ 良いです。楽しい話でした。(70代女性)

事業名	わら細工文化の啓発と技術の伝承		
団体名	わら細工の会 円座	事業成果報告の記載ページ	P 10

- ・ 内容も充実していて、大変良い。(70代女性)

事業名	滝山ネイチャークラブ		
団体名	自然体験活動に関する事業	事業成果報告の記載ページ	P 12

- ・ 自然を相手に、上手に子供たちに体験活動をさせていました。(70代女性)

事業名	会の広報用パンフレットの作成		
団体名	めじろ台安心ねっと	事業成果報告の記載ページ	P 14

- ・ この活動がモデルとなり、市内に広がっていく必要を痛感しています。ただ、町会に所属していない(できない)人もいますので、パンフレットを目にする機会が増えればと思います。(40代女性)

事業名	チャーム活動普及事	
団体名	ハートフルメイクボランティア・チャーム	事業成果報告の記載ページ P16

- ・メイクやハンドマッサージなどは「心のリハビリ」とも言われています。高齢者は体験が不足しているので、活動が広がり一般の人でも気軽に参加できるようになればと思います。(40代女性)

事業名	楽しい介護予防の音楽セミナー	
団体名	八王子音楽療法研究会	事業成果報告の記載ページ P18

- ・楽しみだけではなく、どんな理由があって予防することが必要なのか。それを参加者が理解する。学びがあることが、とても大切だと思います。大人の学校のような。長年活動されている様子なので、あとは広報面だけのように感じました。(40代女性)

事業名	要約筆記啓発講座	
団体名	八王子要約筆記サークルそらの会	事業成果報告の記載ページ P22

- ・一般の方が参加する講演会等で、要約筆記にふれる機会があればと思いました。ハンディキャップのある人だけでなく、高齢者は話のスピードについていけないと聞きます。もっと多くの方が求めているかもしれません。(40代女性)

事業名	ボレボジさぼーと	
団体名	ボレボジさぼーと	事業成果報告の記載ページ P24

- ・発達支援の会-未来さんと何かつながりがあると、両方の活動が宣伝になるように感じました。(40代女性)

事業名	メディエーション(和解支援)紹介普及活動	
団体名	草の根メディエーション(和解支援)の会	事業成果報告の記載ページ P26

- ・着実な活動へ、必要性が高まってきている背景から、今後の広がりを楽しみにしています。メディエーター育成をがんばってください。(40代女性)

事業名	八王子陵南公園さくら祭り	
団体名	特定非営利活動法人 八王子さくらの会	事業成果報告の記載ページ P28

- ・良い企画です。今後の発展を楽しみにしています。(70代女性)

事業名	音楽療法による教育・子育て・地域支援事業	
団体名	特定非営利活動法人 音楽療法 NPO ムジカトッティ	事業成果報告の記載ページ P34

- ・共に音楽を楽しんで発散する。参加者は自然なコミュニケーションを体験できて、効果的であることが、少しの映像でしたが、伝わってきました。ママセラピーは、親子つどいの場に声かけをしては？(40代女性)



事業名	講演と視覚障害者音楽家による演奏会 21世紀の青少年へのメッセージ“未来への夢と努力と”	
団体名	東京八王子プロバスクラブ	事業成果報告の記載ページ P 36

- ・ 秋のイベントは増えるので、開催時期を考慮することは大事だと思いました。内容は充実していると思います。参加する世代をしぼらなくても?とも感じます。(40代女性)

事業名	「絆(〜きずな〜)の創造」コンサート	
団体名	八王子シティオーケストラ	事業成果報告の記載ページ P 40

- ・ たいへん良い活動でした。コラボレーションが素晴らしい。(70代女性)

事業名	障害者ケアサポートプラン[知的障害者]	
団体名	特定非営利活動法人 日本ウェルネット	事業成果報告の記載ページ P 42

- ・ 「半農半X」で、もっと農業に参加したいと考えている若い人もいます。NPOで農商工連携サポートセンターという団体もあるので、視点を変えてみるのも一考かと。(40代女性)
- ・ ご苦労様です。(70代女性)

事業名	八王子おやじ旅券(小冊子)の発行	
団体名	創快おやじ倶楽部	事業成果報告の記載ページ P 44

- ・ 小冊子を300円で買いました。文字サイズと資金面が折り合わないのかもしれませんが、少し残念です。読みやすさと、使いかっの良さを次回期待します。(40代女性)

事業名	八王子現代家具工芸学校	
団体名	家具のまち八王子	事業成果報告の記載ページ P 46

- ・ 大変良い学校です。八王子市の誇りでしょうか。がんばってください。(70代女性)

事業名	大人の女性のゼミ〜ママが学んでおきたいこと〜	
団体名	f-SHIP	事業成果報告の記載ページ P 54

- ・ テーマはとても良いです。もう少し具体的に解りやすく発展させれば素晴らしいと思います。(70代女性)

事業名	デイジー図書の作製	
団体名	南大沢音訳の会「こだま」	事業成果報告の記載ページ P 62

- ・ 表彰おめでとうございます。パソコン購入で編集が、よりやりやすくなって、「デイジー図書が増えていくことが楽しみ」としている人も多いと思います。(40代女性)

事業名	認知症:集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる		
団体名	特定非営利活動法人 らいふねっとMOE	事業成果報告の記載ページ	P 64

- ・ 市内の各地域で必要とする事業だと感じます。高齢者自身が未来予想図を描けていないと、「学び、集い、支え合い」の必要性をなかなか実感しにくいテーマでもあります。公的なものだけでは、支援につながらない、大変な社会になりつつあるのだと思います。(40代女性)
- ・ 発展性のある、大変良い活動と思います。今後、ますますの活動を期待します。(70代女性)

事業名	夢あるまちづくり		
団体名	夢あるまちづくり協議会	事業成果報告の記載ページ	P 70

- ・ パワーポイントの作成、ソフトの使い方、流れが素晴らしい。内容も豊富。(70代女性)

事業名	市民参加型 援農活動による農業活性化Ⅱ		
団体名	特定非営利活動法人 すずしろ22	事業成果報告の記載ページ	P 74

- ・ 時間があれば、参加したいです。(70代女性)

## (2) 成果報告会についての主なご意見・ご感想

- ・ 何度か応募する団体に対して、過去の審査からステップアップできているかの評価があると、より良い事業につながる気が致します。(40代女性)
- ・ 大変有難い、良い制度です。それぞれの各事業が有意義に受け止め、八王子市の発展に尽くしている様子素晴らしいです。今後ともよろしくお願い致します。感謝します。(70代女性)

## (3) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

- ・ 事業を開催する時に、参加費がいくらなのか？それを示して下さいと、今後事業を考えている者として、参考になります。震災で活動が制限され、事業が思うように展開できない状況も見受けられました。それでも、多くの団体の方が、とても熱い気持ちで活動されていることも十分に伝わってきました。(40代女性)
- ・ 本日は午前中1番より35番まで大変良い研修をさせていただきました。八王子の生き生きとした、素晴らしい町の姿に感心しています。会の開催をご計画いただきました市の職員の皆様、審査の皆様ご苦労様でした。来年もまた、楽しみにしています。(70代女性)

## 7 交付団体連絡先一覧

部門	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援	防火支援ボランティアFOB八王子	本田 秋久	本田 秋久	八王子市川口町1540-65	042-654-6148
	特定非営利活動法人 発達支援の会 —未来	坂元 恵子	前田 早百合	八王子市狹間町1800-162	042-667-0373
	わら細工の会 円座	伊藤 文子	伊藤 文子	八王子市大和田町7-18-20	042-625-2542
	滝山ネイチャークラブ	堀岡 正昭	堀岡 正昭	八王子市西寺方町1019-269	042-651-9151
	めじろ台安心ねっと	嶺 学	青木 光子	八王子市めじろ台3-5-10	042-663-0695
	ハートフルメイクボランティア・ チャーム	園 久美子	園 久美子	八王子市久保山町1-9-3-307	042-691-4935
	八王子音楽療法研究会	新井 幹	新井 幹	八王子市めじろ台2-18-6	042-664-6357
	特定非営利活動法人 建物相談室 五色会	唐木 誠	唐木 誠	八王子市追分町17-2	042-622-2529
	八王子要約筆記サークルそらの会	内藤 美智子	内藤 美智子	八王子市大和田町6-12-15	042-646-0120
	ボレボジさぼーど	吉田 糸子	吉田 糸子	多摩市愛宕4-28-2-101	042-338-7112
	草の根メディエーション（和解支援）の会	岡野内 恵里子	岡野内 恵里子	八王子市千人町2-16-3-603	042-662-6760
事業実施	特定非営利活動法人 八王子さくらの会	仁部 英二	仁部 英二	八王子市明神町4-1-2-1101	042-645-1189
	ICA国際電卓協会	高木 謙任	高木 謙任	八王子市叶谷町874-2	042-624-4856
	八王子生涯学習コーディネーター会	間宮 章	間宮 章	八王子市北野台2-19-21	042-636-1224
	特定非営利活動法人 音楽療法 NPOムジカトゥッティ	多田羅 康恵	神崎 智子	八王子市大和田町4-29-17-301	042-642-1030
	東京八王子プロバスケットボールクラブ	杉山 友一	立川 富美代	八王子市栢田町1221-2-611	042-666-8550
	八王子学会	大野 聖二	大野 聖二	八王子市追分町2-10-4-1301	042-624-8110
	八王子シティオーケストラ	宮下 典子	宮下 典子	八王子市八幡町9-4-701	042-623-8979
	特定非営利活動法人 日本ウェルネット	福田 稔	福田 稔	八王子市千人町2丁目3-16 プラザ西八王子	042-669-2728
	創快おやじ倶楽部	勝村 昭光	勝村 昭光	八王子市七国六丁目23-12	070-5582-7112
	家具のまち八王子	村内 弘道	伊藤 洋平	八王子市本郷町6-14	042-623-7189
	とんとんむかしの会	吉田 美江	吉田 美江	八王子市絹ヶ丘1-17-3 吉田方	042-635-5951
	南大沢を知ってほしい会	井上 明美	井上 明美	八王子市上柚木3-16-2-902	042-679-2293
	八王子学研究会	炭谷 晃男	千種 康民	八王子市山田町1956-4	080-5187-2220

部門	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
事業 実施	f-SHIP	石黒 美世	石黒 美世	八王子市城山手1-26-21	042-662-7916
	八王子・子どもの居場所づくりプロジェクト	炭谷 晃男	炭谷 晃男	八王子市別所1-43-11	042-674-0769
	八王子青年団体連絡協議会	今井 浩寿	小川 俊一	八王子市千人町3-13-13 小川 方	042-661-3906
	里親ひろば ほいっぴ八王子	坂本 洋子	高瀬 礼子	八王子市横川町42-108	090-3686-1713
	南大沢音訳の会「こだま」	遠藤 由利子	遠藤 由利子	八王子市緑町298-9	042-627-4032
	特定非営利活動法人 らいふねつとMOE	菅原 久美子	菅原 久美子	八王子市鹿島4-1-101	042-676-7175
	絵と語り付きクラシックコンサート実行委員会	大宮 桂子	浅井 芳美	八王子市南大沢2-15-1-1-508	042-677-8890
	特定非営利活動法人 地球冒険学校準備会	小野 晴巳	宮下 純一	八王子市大和田町1丁目3番13号 宮下方	042-646-0459
	夢あるまちづくり協議会	沼澤 仁	沼澤 仁	八王子市松が谷54-2-501	042-675-5467
	はちおうじユースネットサービス	串田 明	大神田 良子	八王子市絹ヶ丘1-1-15	042-632-6262
特定非営利活動法人 すずしろ22	中村 貞夫	飛田 恵美子	八王子市暁町2-27-3	042-625-5647	

平成22年度  
市民企画事業補助金  
成果報告書



平成23年8月発行

発行 / 八王子市  
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号  
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253  
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp  
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatsudo/index.htm>

---

